

第2回トキと共生する里地づくりネットワーク協議会の概要

【開催日時】 令和5年10月23日（月）15:00～17:15（会議）

（10月24日（火）は現地視察実施）

【開催場所】 Royal Hotel 能登（石川県羽咋郡志賀町）

【参加団体】 佐渡市

石川県及び関係9市町^{※1}（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）

島根県出雲市

宮城県登米市

秋田県にかほ市

コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム^{※2}

（茨城県古河市、結城市、常総市、坂東市、境町、栃木県栃木市、小山市、野木町、埼玉県行田市、加須市、鴻巣市、久喜市、北本市、吉見町、千葉県野田市、我孫子市、いすみ市、東庄町）

環境省（自然環境局野生生物課、関東地方環境事務所）

佐渡トキ保護センター

※1 当日の現地参加者は石川県、七尾市、中能登町

※2 当日の現地参加者は栃木県小山市

<オブザーバー>

新潟県

国土交通省水管理・国土保全局

東北地方整備局

関東地方環境整備局

中国地方整備局

農林水産省大臣官房

農産局

林野庁近畿中国森林管理局

【協議会議事及び概要】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 トキと共生する里地づくり取組地域における取組紹介

(1) 取組紹介

トキと共生する里地づくり取組地域5地域（石川県、出雲市、登米市、にかほ市、小山市（コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム）より、地域の概要や、取組方針、取組を通じて目指す地域の姿、具体的な取組内容等について発表。

(2) 意見交換

- 各地域で実施している調査について詳しく知りたいという意見があり、各自治体がそれぞれ説明を行った。
- 出雲市から石川県に対し、ボランティアを集めるための工夫についての質問があった。
 - ・石川県から、元々実施している「いしかわ農村ボランティア」の参加者には、移動手段の提供や、県内の直売所などで使えるポイントを発行していること、またその財源などについて説明があった。
- 環境省から石川県に対し、地域の方々の意識醸成について質問があった。
 - ・石川県から、能登地域では、各市町の首長、JA、森林組合、商工関係者といった様々な関係団体が集まって協議会を設置し情報交換をしていることや、モデル地域を設定して整備を進めていることなどが説明された。
 - ・環境省からは、佐渡においても地域の方々の思いがありこれまで取組が進んできたこと、また、石川県や他の地域においても地域の方々の意見を取り入れながら取組を進めていただきたいとの発言があった。

5 本州でのトキの定着に向けて

(1) 佐渡トキ保護センターでの取組の紹介（環境省佐渡自然保護官事務所）

主に、放鳥までの流れ（捕獲、足環装着、羽の着色等の準備）や、放鳥個体の順化訓練、放鳥に係る作業等について動画などを用いて説明を行った。

（２）野生復帰に向けた考え方及び確認事項について（素案）（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室）

本州でのトキの野生復帰に向け、その必要性や考慮すべき事項の確認などを行う上で指針とする目的で作成した、現時点での考え方等を示した資料の説明を行った。※本資料は非公開とする

（３）意見交換

- 石川県から環境省に対して、下記の意見があった。
 - ・ 早ければ令和８年度の放鳥を目指しており、具体的な放鳥条件・放鳥方法を可能な限り早期に提示していただきたい。
 - ・ できればトキに関する風力発電のガイドラインも作成していただきたい。
 - ・ トキに対する電気柵の影響についても調査研究・評価をお願いしたい。
- 環境省からは、下記のとおり回答があった。
 - ・ 具体的な放鳥条件や放鳥方法については遅くとも令和７年度までには整備することを想定している。
 - ・ しかしその数値基準は、一部は目安となる数値は示せる見込みであるものの、全ての数値基準を設けることは困難と考えており、放鳥の実施にあたっては、総合的な判断になると考えている。
 - ・ いずれも環境省単独で決められるものではないため、放鳥を実施する自治体や地域住民の意向、佐渡の意向、飼育繁殖施設の体制や繁殖計画、有識者の意見等を考慮し、各方法の適性や実現可能性を検討し整理したい。
 - ・ 風力発電や電気柵については佐渡での事例がないため、他の地域の生態的に近い鳥類の情報収集や、既存のマニュアル等を参考として判断することになるだろう。
- 新潟県から、今後本土での放鳥個体を確保するという点で重責を担っていることについての認識があること、今後も密に情報共有させていただきたいという発言があった。また、本土放鳥に向けての地

元の理解や、齟齬がないようにすることは一番のトラブル回避になるため、本土放鳥の実現のため、是非地元とのコンセンサスをとっていただくといよいとの助言があった。

- 環境省から新潟県に、日頃からの協力に感謝するとともに、今後とも情報共有、相談させていただきながら進めたい旨の回答があった。

6 その他

環境省自然環境局自然環境計画課よりネイチャーポジティブの達成に向けた自然共生サイトに関連した取り組みについて情報共有。

7 閉会



協議会の様子（於：Royal Hotel 能登）

【10月24日の現地視察の概要】

① 放鳥モデル地区の一つ（羽咋市）の視察

トキの餌場環境づくり等、生物多様性に配慮した農業実施地域を視察し、実際の作業の主体者より、取組内容（減農薬や除草剤を使わない作業、江の設置等）について、現地で説明を受け、意見交換を行った。



環境づくりを実施しているモデル地区での説明の様子

② トキの里山館（いしかわ動物園）の視察

トキの分散飼育施設の一つであるいしかわ動物園内のトキの里山館を視察し、飼育担当者から施設の解説や、トキの飼育における留意点、工夫点、問題点等の説明を受けた。



視察の様子